

【臨床検査科】

<理念>

私たち臨床検査科職員は、下記の理念に基づいて日々業務遂行しています。

- ・患者様に笑顔で接します。
- ・検査結果待ち時間短縮に努めます。
- ・チーム医療に貢献。

<業務内容>

患者様から採取した血液・尿・便・分泌液・組織などの「検体」を分析する「検体検査」と、患者様に直に接して身体の生理的機能の電気信号を波形として記録する心電図や脳波など「生理学的検査」が主な業務になります。

検査結果は、患者様の病気の診断や治療の経過観察に活用されます。

○検体検査

採血した少量の血液や尿などの検体から、様々な成分を分析して、身体の異常や疾患、貧血や栄養状態など判別する検査になります。

○輸血検査

手術や貧血で輸血が必要な場合、患者様の血液型検査や輸血用血液の安全確認するための適合検査などを行います。また、患者様ご自身の血液を輸血する自己血輸血も実施しています。

○COVID19 関連検査

新型コロナウイルス抗原検査(約 15 分)、核酸増幅検査(15 分法・60 分法)があり、発熱外来で検査しています。



○生理機能検査

心電図検査(12誘導心電図、ホルター心電図、負荷心電図)

脳波検査

血圧脈波検査(動脈硬化検査)

睡眠時無呼吸検査(簡易・精密検査)

呼吸機能検査

肺機能検査 など

・ホルター心電図検査

携帯型心電計を使用して、24時間の心電図を記録します。

胸部に測定用の電極を装着するため入浴はできませんが、通常の生活や仕事に影響はありません。

・脳波検査

脳の働きに伴い発生する微弱な電気活動を、頭皮上から検出して増幅させて記録する検査であり、痛みもなく約30分で検査終了します。



・動脈硬化検査

両手及び両足の血圧を測定しながら、動脈の詰まりや硬さが判断でき、痛みもなく数分で終了する検査になります。

・睡眠時無呼吸検査

就寝中のいびきや呼吸停止・睡眠の満足感がない、日中とても眠いなど心当たりがある方は、睡眠時無呼吸症候群の可能性があるため、睡眠中の身体の様子を、機器を装着し電極を通して、呼吸や睡眠の状態を調べる検査になります。

検査機器を患者様に貸し出し、ご自宅で就寝前に簡単な機器を装着していただき、寝ている間の状態を検査します。(簡易検査)

簡易検査で無呼吸症候群が疑われる場合、病院に一泊入院していただき精密検査を受けていただきます。(精密検査)

当院では、100名以上の患者様が睡眠時無呼吸症候群と診断され、治療継続されています。